



2023 東京学芸大学
「第1回 外国人児童生徒等教育研修」

日本語指導の事例（日本語基礎）

甲府市立 大国（おおくに）小学校

今 澤 悌（やすし）

日本語指導のコース設計

(文科省「外国人児童生徒課題遂行型の活動」で)

生活・学習場面にかかわらせ、
課題遂行型の活動

4技能を統合した
「言語活動」として

子どもたちの生活・学習場面にかかわらせ課題遂行型の活動で4技能を統合した言語活動として

「日本語基礎」
(文字・表記)
(語彙・文法)

この後の、漢字語彙、文法の学習は、技能別の学習に組み込んで

「技能別
日本語」

早くから教科内容
に関連付けて

「日本語と教科の
統合学習」

JSLカリキュラム

「教科の補習」

適宜

母語の支援が可能であれば、母語で

緑：小低・中学年 青：小高学年以上

図3-3：コース設計 プログラムの組み合わせ例

②「日本語基礎」プログラム

4技能を統合した
「言語活動」として

生活・学習場面にかかわらせ、
「課題遂行型の活動」で

るための学習。日本語の知識・技能の獲得を中心としつつ、学校への適応や教科学習に参加するための基礎的な力として位置づけ計画する。

文科省「外国人児童生徒受け入れの手引き」

「基本的に

- (A) 発音の指導
- (B) 文字・表記の指導
- (C) 語彙の指導
- (D) 文型の指導

の4つがある。」

外国人児童生徒
受け入れの手引

改訂版



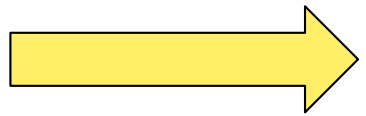
2019年3月

文部科学省総合教育政策局
男女共同参画共生社会学習・安全課

文字指導

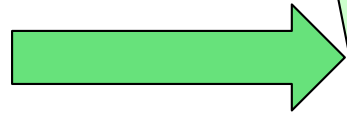
サバイバル指導、
語彙指導と合わせて。
× カード、プリントを
延々と...

ひらがな



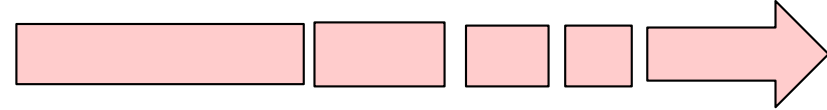
「ひらがな」のみの単文音読
→ 複文の音読

カタカナ



少しまとまった文での
初級読解
(カタカナ入り)

漢字



まとまった文での
初級読解(漢字入り)

まずは「読める」こと。
自信を持たせ、読める楽しさ、
喜びを。 → 「書ける」へ

文字指導(ひらがな・カタカナ)

児童生徒が
覚えやすい工夫を

■児童生徒の身近で興味関心を利用

友だち・先生の名前、キャラクター、乗り物、食べ物、国の名前、部活の名前、スポーツ選手、歌手、俳優、サバイバルで学習したもの、在籍学級で学習している内容

→ サバイバル日本語や教科学習に関連づけて

サバイバルで学習

児童の興味があるもの

生活・学習場面にかかわらせ、
「課題遂行型の活動」で

在籍学級の授業で
扱ったもの(国語
「こまを楽しむ」)

行事(交通安全
教室)で
使われた
もの

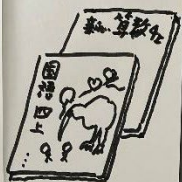
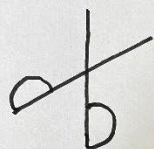
語彙指導

語彙の絵カード
子どもの身の回りの
語彙から・・・

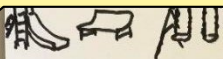
児童生徒が
覚えやすい工夫を

えんぴつ
(えんぴつ)

けしゴム
(けしゴム)



次週の遠足に関する
語彙の絵カード



生活・学習場面にかかわらせ、
「課題遂行型の活動」で

○えんぴつ

×えびつ

学習した絵カードをサイコロに
かきとり競争！



語彙指導

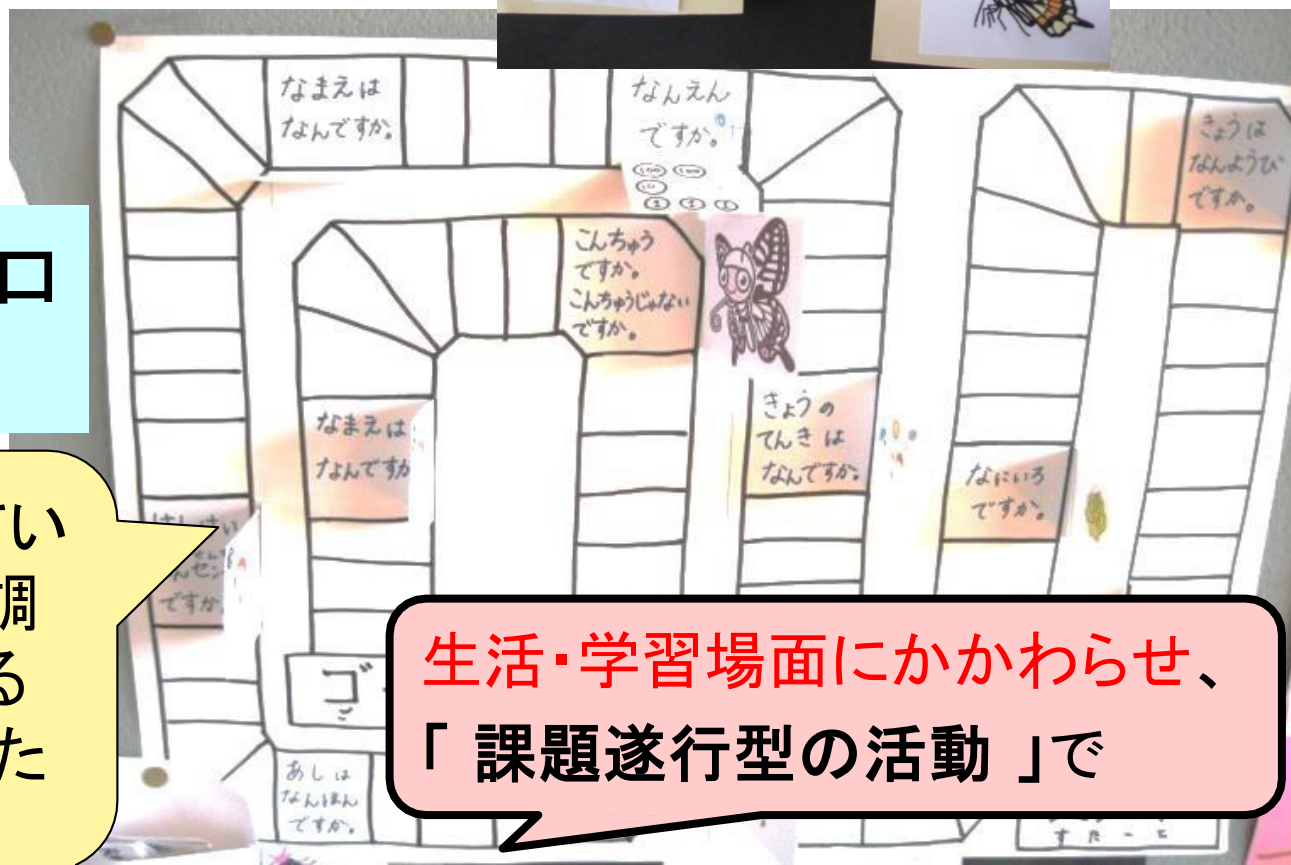
教科学習に関連づけて

理科「こん虫」の授業
に関する語彙の絵
カード



絵カードをサイコロ
にしてスゴロク

在籍学級で学習している理科「こん虫を調べよう」で扱われる内容・語彙を使ったスゴロク

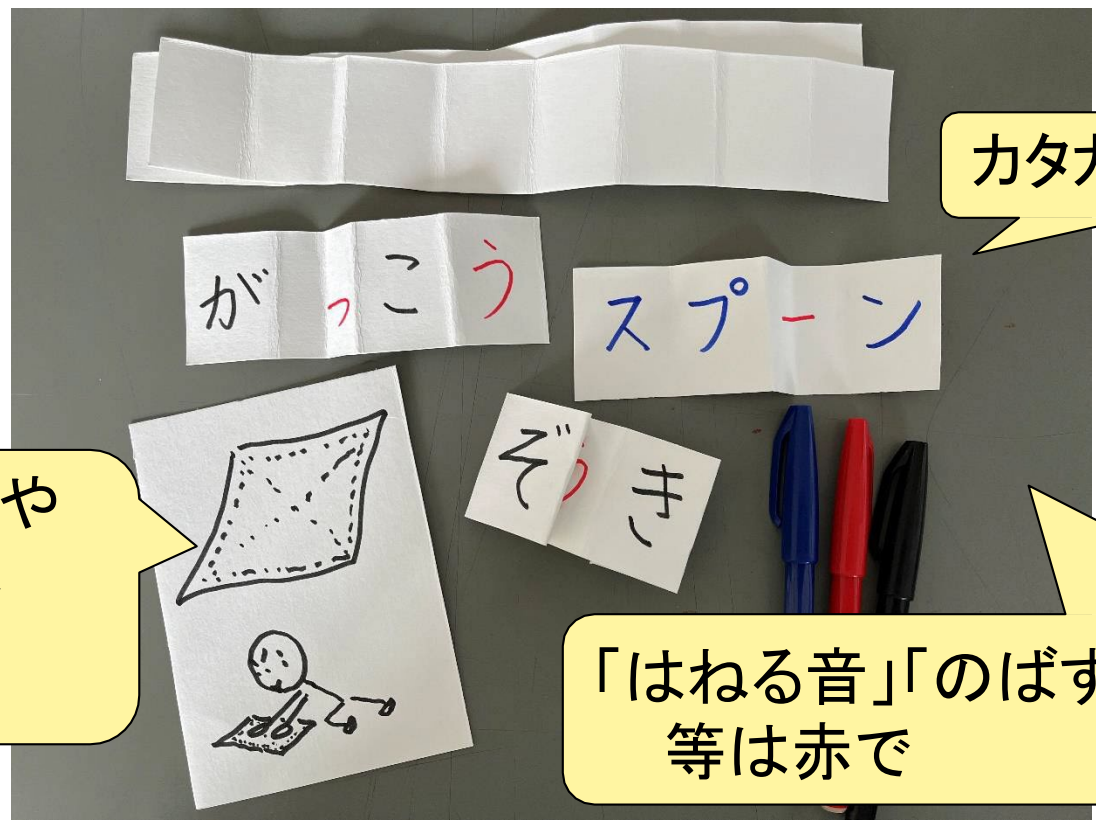


生活・学習場面にかかわらせ、
「課題遂行型の活動」で

表記・発音指導

児童生徒が覚えやすい工夫を

- 脈絡のない、表記のみ、発音のみの指導は△・・・×・・・
＝サバイバル、文型指導等と合わせて
- 音を確認し、言わせながら。手で拍をとりながら。
※絵カードをサイコロにした「すごろく」はすぐ覚える！



カタカナは青で

サバイバル指導や文型指導の中で(合わせて)

「はねる音」「のばす音」「ん」等は赤で

文型指導

色の名前(語彙指導)と関連づけて

「～です。」

「赤です。青です。」

サバイバルと関連づけて

「～して」

「みて。」「よんで。」

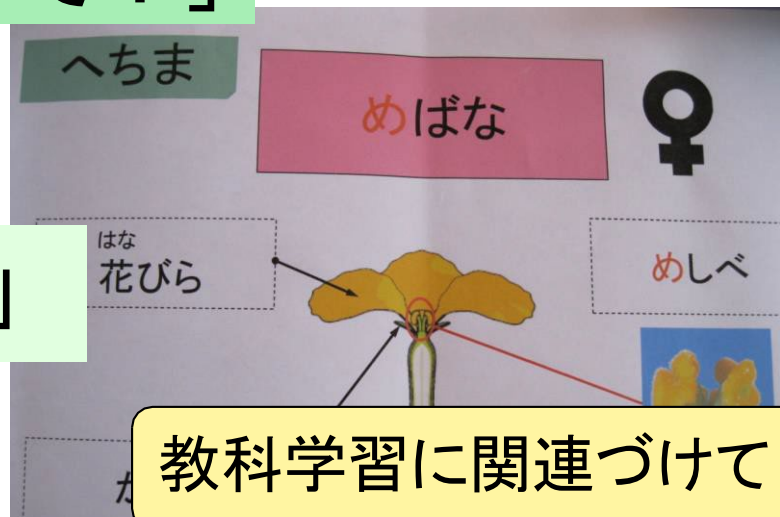
「赤あげて！白 さげて！」

教科学習に関連づけて

「へちまです。花びらです。」

「～の～は～です。」

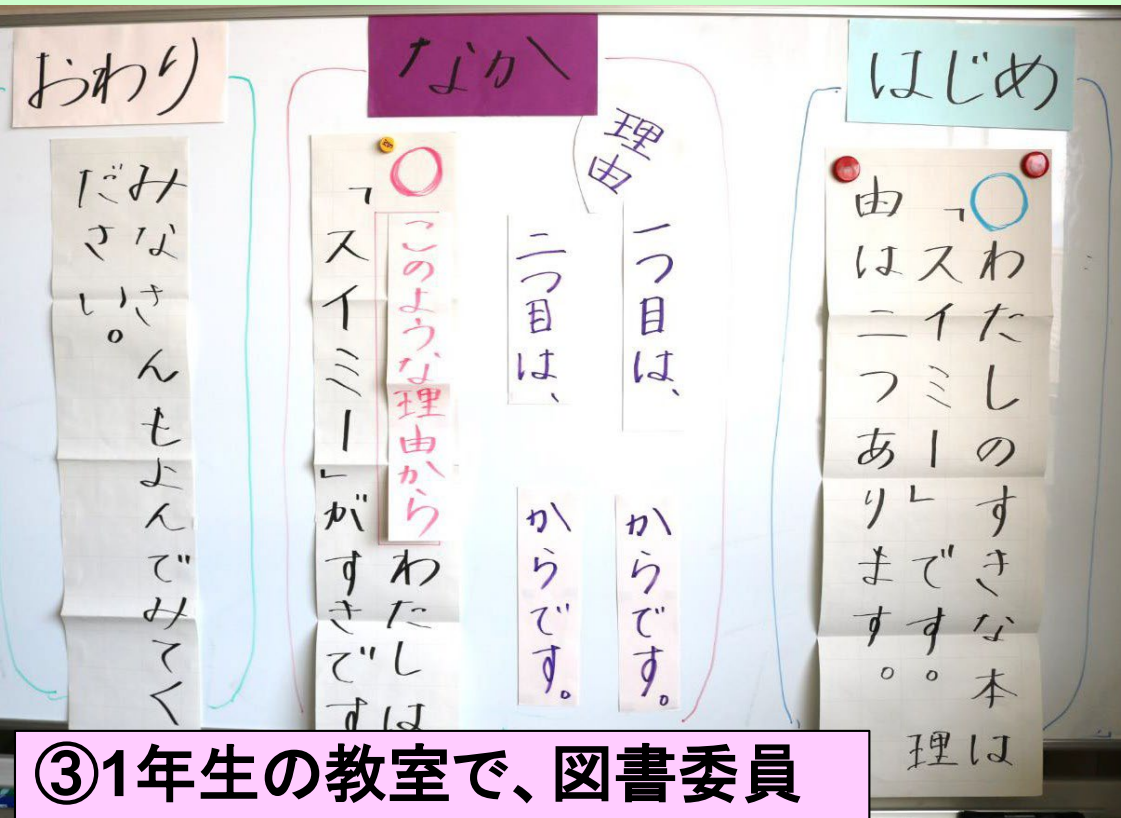
「へちまの花びらは きいろ です。」



教科学習に関連づけて

文型指導：学校生活に関連づけて

図書委員会「1年生におすすめの本を紹介しよう！」



①好きな本についてやりとりをする。

「わたしの～は～です。」
「わたしの好きな本はスイミーです。」

②1年生に読んでもらうには、どう紹介すればいいか考え発表原稿を書く

③1年生の教室で、図書委員としてお薦めの本を紹介する

生活・学習場面にかかわらせ、

「**課題遂行型の活動**」で

「～からです。」
「このような理由から～は～です。」

「～してみてください。」

文型指導

生活・学習場面にかかわらせ、
「課題遂行型の活動」で

「～は～です。」

サバイバルに
関連づけて

「これはうわばきです。」

学校生活の中の
語彙、教科名

「2校時は理科です。」

教科学習に
関連づけて

すいそ

「水素(hidorogeno)はHです。」

ねったい

あつ

「熱帯は暑いです。」

「～の～は～です。」

「月曜日の2校時は理科です。」

教科学習に
関連づけて

うおんず

ねったい

「Aの雨温図は熱帯です。」

文型指導：教科学習に関連づけて
「気候帯を知ろう！」

「～は～です。」



ねったい

あつ

「熱帯は暑いです。」

さばく

かんそうたい

「砂漠は乾燥帯です。」

生活・学習場面にかかわらせ、

「課題遂行型の活動」で

「～に～がいます(あります)。」

かんそうたい

「乾燥帯にらくだがいます。オアシスがあります。」

「～の～は～です。」

うおんず

ねったい

「Aの雨温図は熱帯です。」

うおんず

なにたい

「Bの雨温図は何帯ですか。」

教科書の写真



◎認知的な発達を考慮して

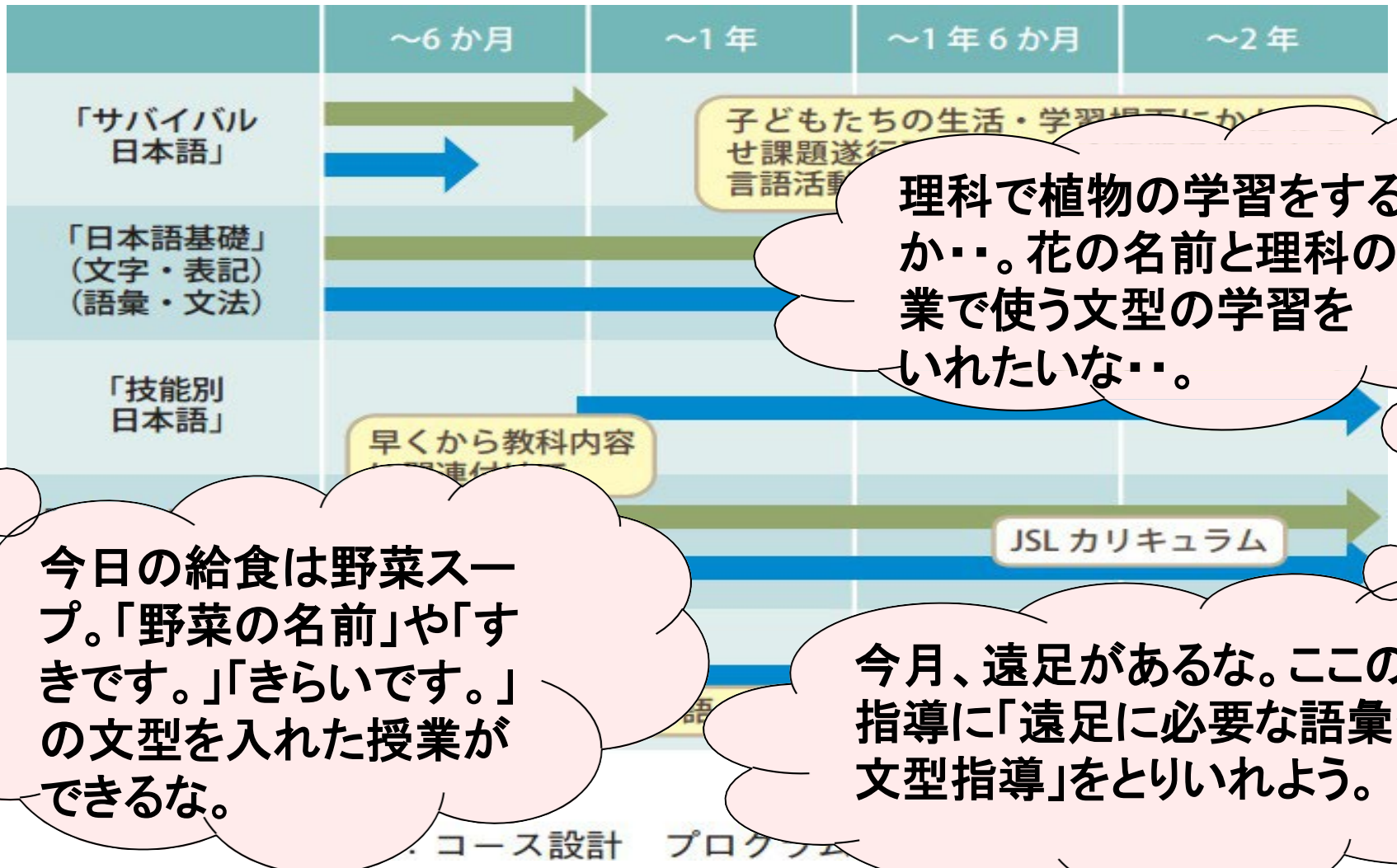
○学習内容、課題・学習活動の認知的なレベルを下げない!

→課題の認知的なレベルを下げずに、目標に沿って、目標以外の日本語の負荷を減らす。

→子どもの「現在の日本語力 + α 」で達成できる課題を用意

日本語プログラムのコース設計

☆子どもの日常の学習や生活に「生きる」指導を！



日本語指導のコース設計

(文科省「外国人児童生徒課題遂行型の活動」で)

生活・学習場面にかかわらせ、
課題遂行型の活動

4技能を統合した
「言語活動」として

子どもたちの生活・学習場面にかかわらせ課題遂行型の活動で4技能を統合した言語活動として

「日本語基礎」
(文字・表記)
(語彙・文法)

この後の、漢字語彙、文法の学習は、技能別の学習に組み込める

「技能別
日本語」

早くから教科内容
に関連付けて

ひらがなカードをひたすら・・・カ
タカナプリント、漢字プリントを
ひたすら・・・ ×・・・

「日本語と教科の
統合学習」

市販のテキスト通りの順番、
内容で・・・ ×・・・

母語の支援が可能であれば、母語で

緑：小低・中学年 青：小高学年以上

☆子どもの日常の学習や生活に「生きる」指導を！